

令和 2 年

第 1 回臨時市議会

議 案 書

阿 久 根 市

閲覧用

付 議 事 件

報 告 番 号	件 名	ペ ー ジ
1	専決処分の承認について (阿久根市税条例等の一部を改正する条例)	1
2	専決処分の承認について (阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	1 1
3	専決処分の承認について (令和元年度阿久根市一般会計補正予算(第6号))	別 冊
4	専決処分の承認について (令和元年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号))	別 冊
5	議会の委任による専決処分の報告について	1 4
6	議会の委任による専決処分の報告について	1 6
7	議会の委任による専決処分の報告について	1 8
8	専決処分の承認について (令和2年度阿久根市一般会計補正予算(第1号))	別 冊
議 案 番 号	件 名	ペ ー ジ
3 7	固定資産評価員の選任について	2 0

38	令和2年度阿久根市一般会計補正予算（第2号）	別冊
----	------------------------	----

報告第1号

専決処分の承認について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和2年5月22日提出

阿久根市長 西平良将

専決第 1 号

阿久根市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定により，次のとおり専決処分する。

令和 2 年 3 月 31 日

阿久根市長 西 平 良 将

専決処分する理由

地方税法等の一部を改正する法律（令和 2 年法律第 5 号）が公布されたこと等に伴い，阿久根市税条例の一部改正について専決処分する。

阿久根市条例第19号

阿久根市税条例等の一部を改正する条例

(阿久根市税条例の一部改正)

第1条 阿久根市税条例(昭和45年阿久根市条例第34号)の一部を次のように改正する。

第36条の3の2の見出し中「扶養親族等申告書」を「扶養親族申告書」に改め、同条第1項第3号を削り、同項第4号を同項第3号とする。

第36条の3の3の見出し中「扶養親族等申告書」を「扶養親族申告書」に改め、同条第1項中「若しくは単身児童扶養者である者」を削り、同項第3号を削り、同項第4号を同項第3号とする。

第48条第2項中「第66条の7第4項及び第10項」を「第66条の7第5項及び第11項」に改める。

第54条第2項中「登録されている」を「登録がされている」に改め、同条第4項中「によって」を「により」に、「においては」を「には」に改め、「これを」を削り、「課する」を「課することができる」に改め、同項に後段として次のように加える。

この場合において、市は、当該登録をしようとするときは、あらかじめ、その旨を当該使用者に通知しなければならない。

第54条第7項中「第10条の2の12」を「第10条の2の15」に改め、同項を同条第8項とし、同条第6項中「によって」を「により」に、「第49条の2」を「第49条の3」に、「みなす」を「みなすことができる」に改め、同項を同条第7項とし、同条第5項中「によって」を「により」に、「においては」を「には」に、「登録されている」を「登録がされている」に、「みなす」を「みなすことができる」に改め、同項を同条第6項とし、同条第4項の次に次の1項を加える。

5 法第343条第5項に規定する探索を行ってもなお固定資産の所有者の存在が不明である場合(前項に規定する場合を除

く。)には、その使用者を所有者とみなして、固定資産課税台帳に登録し、その者に固定資産税を課することができる。この場合において、市は、当該登録をしようとするときは、あらかじめ、その旨を当該使用者に通知しなければならない。

第61条第9項及び第10項中「第349条の3第12項」を「第349条の3第11項」に改める。

第61条の2の見出し及び同条第1項中「第349条の3第28項」を「第349条の3第27項」に改め、同条第2項中「第349条の3第29項」を「第349条の3第28項」に改め、同条第3項中「第349条の3第30項」を「第349条の3第29項」に改める。

第74条の3の次に次の1条を加える。

(現所有者の申告)

第74条の4 現所有者（法第384条の3に規定する現所有者をいう。以下この条及び次条において同じ。）は、現所有者であることを知った日の翌日から3月を経過した日までに次に掲げる事項を記載した申告書を市長に提出しなければならない。

(1) 土地又は家屋の現所有者の住所、氏名又は名称、次号に規定する個人との関係及び個人番号又は法人番号（個人番号又は法人番号を有しない者にあつては、住所、氏名又は名称及び同号に規定する個人との関係）

(2) 土地又は家屋の所有者として登記簿又は土地補充課税台帳若しくは家屋補充課税台帳に登録又は登録がされている個人が死亡している場合における当該個人の住所及び氏名

(3) その他市長が固定資産税の賦課徴収に関し必要と認める事項

第75条第1項中「又は」を「若しくは」に、「によって」を「により、又は現所有者が前条の規定により」に、「においては」を「には」に改める。

第96条第3項を同条第4項とし、同条第2項中「前項」を「第1項（法第469条第1項第3号又は第4号に係る部分に限る。）」に、「第16条の2の3」を「第16条の2の3第2項」

に、「提出しない場合には、適用しない」を「提出している場合に限り、適用する」に改め、同項を同条第3項とし、同条第1項の次に次の1項を加える。

2 前項（法第469条第1項第1号又は第2号に係る部分に限る。）の規定は、卸売販売業者等が、同条第1項第1号又は第2号に掲げる製造たばこの売渡し又は消費等について、第98条第1項又は第2項の規定による申告書に前項（法第469条第1項第1号又は第2号に係る部分に限る。）の適用を受けようとする製造たばこに係るたばこ税額を記載し、かつ、施行規則第16条の2の3第1項に規定する書類を保存している場合に限り、適用する。

第98条第1項中「第96条第2項」を「第96条第3項」に改める。

第131条第6項中「第54条第6項」を「第54条第7項」に改める。

附則第6条中「平成34年度」を「令和4年度」に改める。

附則第7条の3の2第1項中「平成45年度」を「令和15年度」に、「平成33年」を「令和3年」に改める。

附則第8条第1項中「平成33年度」を「令和6年度」に改める。

附則第10条中「又は法附則第15条」を「又は附則第15条」に改める。

附則第10条の2第2項を削り、同条第3項中「附則第15条第2項第6号」を「附則第15条第2項第5号」に改め、同項を同条第2項とし、同条第4項を同条第3項とし、同条第5項を同条第4項とし、同条第6項中「附則第15条第29項」を「附則第15条第26項」に改め、同項を同条第5項とし、同条第7項中「附則第15条第30項第1号」を「附則第15条第27項第1号」に改め、同項を同条第6項とし、同条第8項中「附則第15条第30項第2号」を「附則第15条第27項第2号」に改め、同項を同条第7項とし、同条第9項中「附則第15条第30項第3号」を「附則第15条第27項第3号」に改め、同項を同

条第8項とし、同条第10項中「附則第15条第31項第1号」を「附則第15条第28項第1号」に改め、同項を同条第9項とし、同条第11項中「附則第15条第31項第2号」を「附則第15条第28項第2号」に改め、同項を同条第10項とし、同条第12項中「附則第15条第33項第1号イ」を「附則第15条第30項第1号イ」に改め、同項を同条第11項とし、同条第13項中「附則第15条第33項第1号ロ」を「附則第15条第30項第1号ロ」に改め、同項を同条第12項とし、同条第14項を削り、同条第15項中「附則第15条第33項第1号ニ」を「附則第15条第30項第1号ハ」に改め、同項を同条第13項とし、同条第16項中「附則第15条第33項第1号ホ」を「附則第15条第30項第1号ニ」に改め、同項を同条第14項とし、同条第17項中「附則第15条第33項第2号イ」を「附則第15条第30項第2号イ」に改め、同項を同条第15項とし、同条第18項中「附則第15条第33項第2号ロ」を「附則第15条第30項第2号ロ」に改め、同項を同条第16項とし、同項の次に次の1項を加える。

17 法附則第15条第30項第2号ハに規定する設備について
同号に規定する市町村の条例で定める割合は、4分の3とする。

附則第10条の2第19項中「附則第15条第33項第3号イ」を「附則第15条第30項第3号イ」に改め、同項を同条第18項とし、同条第20項中「附則第15条第33項第3号ロ」を「附則第15条第30項第3号ロ」に改め、同項を同条第19項とし、同条第21項中「附則第15条第33項第3号ハ」を「附則第15条第30項第3号ハ」に改め、同項を同条第20項とし、同条第22項中「附則第15条第38項」を「附則第15条第34項」に改め、同項を同条第21項とし、同条第23項を削り、同条第24項中「附則第15条第44項」を「附則第15条第38項」に改め、同項を同条第22項とし、同条第25項中「附則第15条第45項」を「附則第15条第39項」に改め、同項を同条第23項とし、同条第26項中「附則第15条第47項」を「附則第15条第41項」に改め、同項を同条第24項とし、

同項の次に次の１項を加える。

２５ 法附則第１５条第４７項に規定する市町村の条例で定める割合は、３分の２とする。

附則第１０条の２第２７項を同条第２６項とする。

附則第１１条の見出し中「平成３２年度」を「令和２年度」に改める。

附則第１１条の２の見出し中「平成３１年度又は平成３２年度」を「令和元年度又は令和２年度」に改め、同条第１項中「平成３１年度分又は平成３２年度分」を「令和元年度分又は令和２年度分」に改め、同条第２項中「平成３１年度適用土地又は平成３１年度類似適用土地」を「令和元年度適用土地又は令和元年度類似適用土地」に、「平成３２年度分」を「令和２年度分」に改める。

附則第１２条の見出し中「平成３２年度」を「令和２年度」に改め、同条中「平成３２年度」を「令和２年度」に、「又は法」を「又は」に改める。

附則第１３条の見出し中「平成３２年度」を「令和２年度」に改め、同条中「平成３２年度」を「令和２年度」に、「又は法」を「又は」に改める。

附則第１５条第１項中「又は法」を「又は」に、「平成３２年度」を「令和２年度」に改め、同条第２項中「平成３３年３月３１日」を「令和３年３月３１日」に改める。

附則第１７条の２第１項及び第２項中「平成３２年度」を「令和５年度」に改める。

附則第２２条中「平成３５年度」を「令和５年度」に改める。

(阿久根市税条例等の一部を改正する条例の一部改正)

第２条 阿久根市税条例等の一部を改正する条例（令和元年阿久根市条例第１２号）の一部を次のように改正する。

第２条のうち、阿久根市税条例第２４条第１項第２号の改正規定を削る。

附則第１条第３号を次のように改める。

(3) 削除

附則第1条第4号中「（前号に掲げる改正規定を除く。）」を削る。

附則第3条を次のように改める。

第3条 削除

附 則

（施行期日）

第1条 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

（市民税に関する経過措置）

第2条 別段の定めがあるものを除き、第1条の規定による改正後の阿久根市税条例（以下「新条例」という。）の規定中個人の市民税に関する部分は、令和2年度以後の年度分の個人の市民税について適用し、令和元年度分までの個人の市民税については、なお従前の例による。

2 新条例第36条の3の2第1項の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に支払を受けるべき同項に規定する給与について提出する同項及び同条第2項に規定する申告書について適用する。

3 新条例第36条の3の3第1項の規定は、施行日以後に支払を受けるべき所得税法（昭和40年法律第33号）第203条の6第1項に規定する公的年金等（同法第203条の7の規定の適用を受けるものを除く。）について提出する新条例第36条の3の3第1項に規定する申告書について適用する。

（固定資産税に関する経過措置）

第3条 別段の定めがあるものを除き、新条例の規定中固定資産税に関する部分は、令和2年度以後の年度分の固定資産税について適用し、令和元年度分までの固定資産税については、なお従前の例による。

2 新条例第54条第4項の規定は、令和3年度以後の年度分の固定資産税について適用し、令和2年度分までの固定資産税については、なお従前の例による。

3 新条例第54条第5項の規定は、令和3年度以後の年度分の固定資産税について適用する。

- 4 新条例第74条の4の規定は，施行日以後に，同条に規定する現所有者であることを知った者について適用する。
- 5 平成30年4月1日から令和2年3月31日までの間に取得された地方税法等の一部を改正する法律（令和2年法律第5号）第1条の規定による改正前の地方税法（昭和25年法律第226号。次項及び第7項において「旧法」という。）附則第15条第2項に規定する施設又は設備に対して課する固定資産税については，なお従前の例による。
- 6 平成30年4月1日から令和2年3月31日までの間に新たに取得された旧法附則第15条第33項に規定する特定再生可能エネルギー発電設備に対して課する固定資産税については，なお従前の例による。
- 7 平成28年4月1日から令和2年3月31日までの間に新たに取得された旧法附則第15条第40項に規定する家屋及び償却資産に対して課する固定資産税については，なお従前の例による。

（阿久根市税条例等の一部を改正する条例の一部改正）

第4条 阿久根市税条例等の一部を改正する条例（平成27年阿久根市条例第30号）の一部を次のように改正する。

附則第4条第2項第3号中「平成31年9月30日」を「令和元年9月30日」に改め，同条第13項中「平成31年10月1日」を「令和元年10月1日」に改め，同条第14項の表第5項の項中「平成31年10月31日」を「令和元年10月31日」に改め，同表第6項の項中「平成32年3月31日」を「令和2年3月31日」に改める。

第5条 阿久根市税条例等の一部を改正する条例（平成29年阿久根市条例第10号）の一部を次のように改正する。

附則第1条第3号中「平成31年10月1日」を「令和元年10月1日」に改める。

附則第2条中「31年新条例」を「元年新条例」に改める。

附則第4条第1項中「31年新条例」を「元年新条例」に改め，同条第2項中「31年新条例」を「元年新条例」に，「平成32年度」を「令和2年度」に，「平成31年度分」を「令和元年度

分」に改める。

第6条 阿久根市税条例等の一部を改正する条例（平成30年阿久根市条例第20号）の一部を次のように改正する。

附則第1条第2号中「平成31年10月1日」を「令和元年10月1日」に改め、同条第3号中「平成32年4月1日」を「令和2年4月1日」に改め、同条第4号中「平成32年10月1日」を「令和2年10月1日」に改め、同条第5号中「平成33年1月1日」を「令和3年1月1日」に改め、同条第6号中「平成33年10月1日」を「令和3年10月1日」に改め、同条第7号中「平成34年10月1日」を「令和4年10月1日」に改める。

附則第2条第1項中「平成31年度」を「令和元年度」に改め、同条第2項中「平成33年度」を「令和3年度」に、「平成32年度分」を「令和2年度分」に改める。

附則第5条中「平成31年9月30日」を「令和元年9月30日」に改める。

附則第7条第1項中「平成32年10月1日」を「令和2年10月1日」に改め、同条第2項中「平成32年11月2日」を「令和2年11月2日」に改め、同条第3項中「平成33年3月31日」を「令和3年3月31日」に改め、同条第4項及び第5項中「32年新条例」を「2年新条例」に改める。

附則第9条第1項中「平成33年10月1日」を「令和3年10月1日」に改め、同条第2項中「平成33年11月1日」を「令和3年11月1日」に改め、同条第3項中「平成34年3月31日」を「令和4年3月31日」に改め、同条第4項及び第5項中「33年新条例」を「3年新条例」に改める。

（阿久根市税条例の一部を改正する条例の一部改正）

第7条 阿久根市税条例の一部を改正する条例（平成31年阿久根市条例第13号）の一部を次のように改正する。

附則第2条及び第3条中「平成31年度」を「令和元年度」に改める。

附則第4条中「平成31年度分」を「令和元年度分」に改める。

報告第 2 号

専決処分の承認について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定により，別紙のとおり専決処分したので，同条第 3 項の規定によりこれを報告し，承認を求める。

令和 2 年 5 月 22 日提出

阿久根市長 西 平 良 将

専決第 2 号

阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分
について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定に
より，次のとおり専決処分する。

令和 2 年 3 月 31 日

阿久根市長 西 平 良 将

専決処分する理由

地方税法施行令の一部を改正する政令（令和 2 年政令第 109 号）
が公布されたことに伴い，阿久根市国民健康保険税条例の一部改正に
ついて専決処分する。

阿久根市条例第20号

阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

阿久根市国民健康保険税条例（昭和45年阿久根市条例第35号）の一部を次のように改正する。

第2条第2項ただし書中「610,000円」を「630,000円」に改め、同条第4項ただし書中「160,000円」を「170,000円」に改める。

第26条中「610,000円」を「630,000円」に、「160,000円」を「170,000円」に改め、同条第2号中「280,000円」を「285,000円」に改め、同条第3号中「510,000円」を「520,000円」に改める。

附則第4項及び第5項中「第35条の2第1項」の次に「、第35条の3第1項」を加える。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。ただし、附則第4項及び第5項の改正規定は、土地基本法等の一部を改正する法律（令和2年法律第12号）附則第1項第1号に掲げる規定の施行の日の属する年の翌年の1月1日から施行する。

（適用区分）

- 2 改正後の阿久根市国民健康保険税条例の規定は、令和2年度以後の年度分の国民健康保険税について適用し、令和元年度分までの国民健康保険税については、なお従前の例による。

報告第 5 号

議会の委任による専決処分の報告について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条第 1 項の規定により，別紙のとおり専決処分したので，同条第 2 項の規定によりこれを報告する。

令和 2 年 5 月 22 日提出

阿久根市長 西 平 良 将

専決第5号

損害賠償の額を定め、和解することの専決処分について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。

令和2年3月31日

阿久根市長 西平良将

1 概要

令和2年1月30日、市道敷（市道山下弓木野線）の竹の伐採中に、完全に切り倒していなかった竹が倒れ、車体を損傷させたものである。

2 相手方

- (1) 住所 ※※※※※※※※※※※※※※
- (2) 氏名 ※※ ※※

3 損害賠償の額

68,000円（車体修理費）

専決処分する理由

損害賠償の額を定め、和解することについて、地方自治法第180条第1項の規定に基づく、市長専決処分事項の指定について（平成24年9月26日議決）の定めるところにより、専決処分する。

報告第 6 号

議会の委任による専決処分の報告について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条第 1 項の規定により，別紙のとおり専決処分したので，同条第 2 項の規定によりこれを報告する。

令和 2 年 5 月 22 日提出

阿久根市長 西 平 良 将

報告第7号

議会の委任による専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の規定によりこれを報告する。

令和2年5月22日提出

阿久根市長 西 平 良 将

専決第7号

損害賠償の額を定め、和解することの専決処分について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。

令和2年4月28日

阿久根市長 西平良将

1 概要

令和2年3月9日、市営春畑住宅において建物の一部（ひさしのモルタル）が落下し、車体を損傷させたものである。

2 相手方

- (1) 住所 ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
- (2) 氏名 ※※ ※※

3 損害賠償の額

200,658円（車体修理費）

専決処分する理由

損害賠償の額を定め、和解することについて、地方自治法第180条第1項の規定に基づく、市長専決処分事項の指定について（平成24年9月26日議決）の定めるところにより、専決処分する。

議案第 37 号

固定資産評価員の選任について

下記の者を，固定資産評価員に選任したいので，地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）第 404 条第 2 項の規定により，議会の同意を求める。

令和 2 年 5 月 22 日提出

阿久根市長 西 平 良 将

記

住 所	阿久根市※※※※※※※※※※※
氏 名	新 町 博 行
生年月日	昭和※※年※※月※※日

提案理由

固定資産評価員 垂 義 継 氏の辞任の申出に伴い，新 町 博 行 氏を選任しようとするものである。